

自ら学び自ら考える子供の育成（2年次）

～教科等を学ぶ価値が実感できる

複式学級における学習指導を通して（国語科）～



令和4年10月14日（金）

奄美市立宇宿小学校

※ 研究内容やリーフレット等は、本校 Web ページにも掲載しています。閲覧・ご活用ください。



I 昨年度の研究（1年次）：算数科

複式学級のよさを生かした学習指導

- あ 子供の主体的な学習を促す指導
- い 同学年の子供同士が協力したり、学び合ったりする学習を促す指導
- う 異学年の子供同士が協力したり、学び合ったりする学習を促す指導
- え 教師が積極的に個別対応をする指導



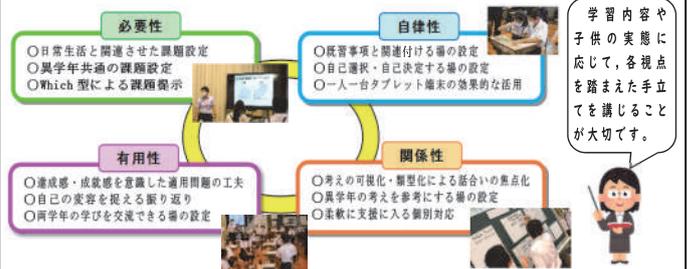
教師はファシリテーター役、コーディネーター役に徹することで、子供主体の学びを促すようにしています。



- ・ファシリテーター（進行）
- ・コーディネーター（調整）

「学びに向かう力」を涵養するための四つの視点に目を向けた指導

必要性	学習に動機を与え、必然をもたせる視点
自律性	学習内容・方法を自分の意志で決められる視点
関係性	知識及び技能同士を結び付け、自分の考えを広げたり深めたりする視点
有用性	学習に意味を見だし、自分の資質・能力に自信がもてる視点

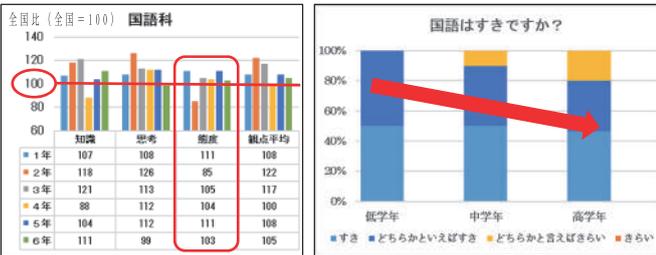


学習内容や子供の実態に応じて、各視点を踏まえた手立てを講ずることが大切です。

Ⅱ 研究（2年次）の方向：国語科

○ 実態から

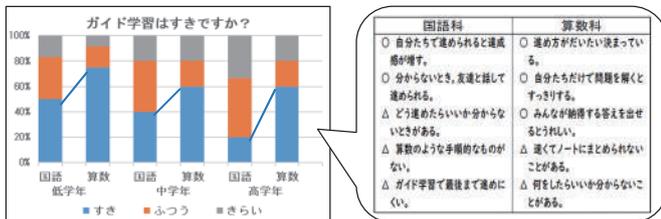
《子供の实態》



【図1 CRT 令和3年度の観点別の結果】

【図2 国語科に関する意識調査】

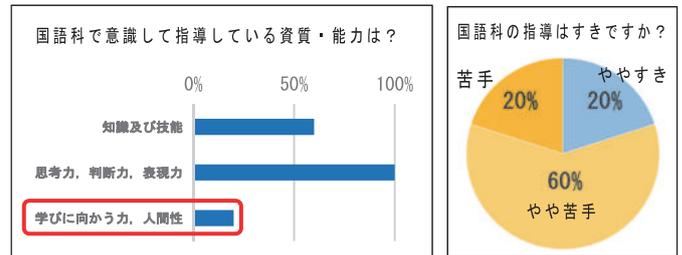
- ・ 知識、思考に比べて態度が全体的に低い。
- ・ 学年が上がるにしたがって苦手意識をもつ子供が多い。



【図3 複式学級におけるガイド学習に関する意識調査】

- ・ 算数と比べると国語科のガイド学習に苦手意識をもっている。
- ・ ガイド学習はどのように進めたらいいか分かりづらい。

《職員の実態》



【図4 国語科指導に関する意識調査】

- ・ 「学びに向かう力」を意識して指導している割合が低い。
- ・ 国語科指導に苦手意識をもっている職員が多い。

《国語科の指導で困っていること》

- ・ 複式学級での指導やガイド学習がうまくいかない。
- ・ 基本的な授業の組立て方が分からない。
- ・ 領域で授業の仕方が異なる。
- ・ 1単位時間の流れが定まらない。
- ・ 何のための学習なのか、目的がぶれてしまうことがある。
- ・ 学ぶ必要感や学んだ達成感をもたせられない。
- ・ 子供主体ではなく、教師主導になりがちである。



学びにくい

複式学級における
国語科の指導に課題

指導しにくい



複式学級における学習指導の課題

- ・ 学習の流れがパターン化されておらず、子供主体のガイド学習が行いにくい。
- ・ 抽象的であるため、目的や方法が定まらず、教師主導の学習になりがちである。

国語科指導の課題

- ・ 他の教科等と比べて学ぶ価値を感じにくく、学んだ実感を捉えにくい。
- ・ 「学びに向かう力」の涵養を意識した授業の組立てができていない。

子供主体の学習になっていない

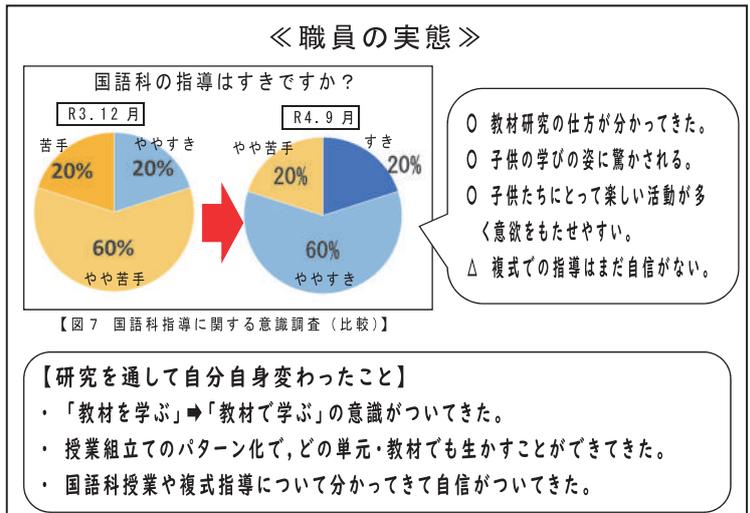
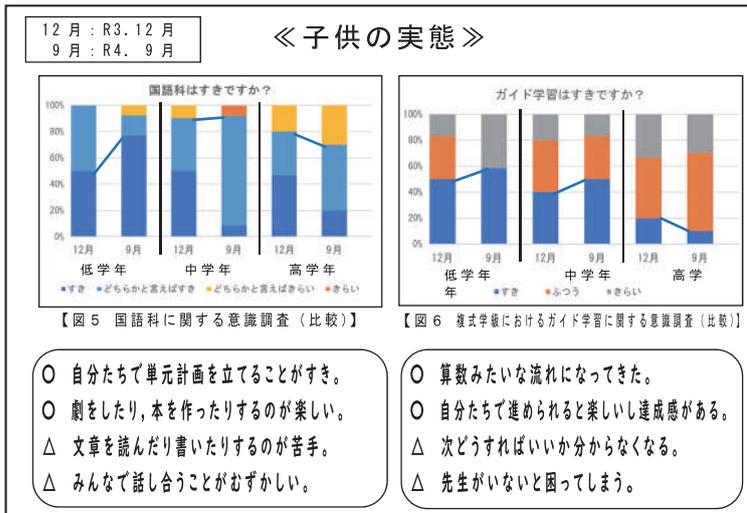
昨年度の研究を生かして…

教科等を学ぶ価値が実感できる複式学級における学習指導（国語科）

- 複式学級のよさを生かした学習指導
- 「学びに向かう力」を涵養するための指導

V 研究のまとめ

○ 実態から



【成果】

- 複式学級のよさや四つの視点を意識した授業づくりに取り組むことで、子供主体の国語科授業が確立しつつある。
- 国語科の全単元・全教材に対応する授業づくりが一般化されたことで、指導に対する苦手意識が改善されてきた。

【改善策】

- ・パターン化のよさを子供たちが実感として捉えられるように、より具体的な実践を継続的に行っていく。
- ・子供たちの「～したい」から始まる、より子供主体の国語科の授業の実現を目指していきたい。

○ 終わりに

「国語科のガイド学習では学びにくい」、「複式学級の国語科は指導しにくい」という教児ともに「～しにくい」からスタートした今回の研究。まだまだ途中段階ですが、「ガイドで進めやすくなった。」「教材研究がしやすくなった。」のように、徐々に「しやすさ」の面も見られるようになってきました。

『学び方改革』…教師にとって指導しやすい学習は子供にとっても学びやすい。子供が学びやすい学習とは、教師主導ではなく、やはり子供主体であるということ。今後さらに、目をキラキラさせながら自ら学び自ら考える子供の育成を目指していきたいと思ひます。



【引用・参考文献】

- 「小学校学習指導要領解説 国語編」 (文部科学省 平成29年)
- 「令和元年度 調査研究発表会資料」 (鹿児島県総合教育センター 令和元年)
- 「令和2年度 調査研究発表会資料」 (鹿児島県総合教育センター 令和2年)
- 「令和3年度 調査研究発表会資料」 (鹿児島県総合教育センター 令和3年)
- 「改訂 大島の教育 Pamphlet 1～5」 (大島教育事務所 令和2年)

◆ 研究同人

校長 岩戸 修二
 教頭 吉田 真也
 教諭 田代 真美
 葛迫 幸生
 新保 恵
 玉泉 真和
 上村 修

◆ 旧研究同人

養護教諭 福田 和代
 事務職員 秋丸 幸賜
 一般事務補助 原田 茂子
 特別支援教育支援員 山下 美紀